令和6年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 永井誠

取組状況	
教育	(1)各学年において基礎文法練習問題を繰り返すことによって基礎力を確保した。(2)伝えたい「意図」に基づく英作文を行い、また、似た表現の異なるニュアンスを理解させることによって、コミュニケーション能力の育成に寄与した。(3)第3学年・第4学年の学生が、理工系テキストの英文の複雑な統語構造に対応できるようになった。(4)習得状況の数字提示により、学生の達成感を高めた。
研究	(1)一昨年度に、機械翻訳を有効活用した「作文比較法」を考案したが、今年度はその効果を定量的に報告するための研究を行った。長期休業中及びその前後に効果測定のための課題作文を行い、データを取った。次年度にその集計に基づき効果を報告する論文を発表できる見込み。(2)「チャンク・リーディング」の問題点二つを挙げ、それらを解消する具体案を提示し、またリスニングに応用・発展させる案を提示した。
社会貢献	(1)「英語教育新発想」というテーマで教員シーズ集にページを設け、自分の研究成果を英語教育の現場に還元するため、技術相談に応じる体制を整えた。(2)「コミュニケーションの為に英文法」という出前・受け入れ授業テーマを設定し、英語教育の向上に努める体制を整えた。